



# 大和ハウス工業株式会社 環境への取組み紹介

Daiwa House

平成24年2月2(木)  
品質・環境管理課  
課長 明石 正

Daiwa House

## 大和ハウス工業株式会社の環境への取組み

全社的環境への取組みとして

- 1) 環境中長期ビジョン2020概要説明
  
- 2) 環境行動計画2013の概要説明
  - ① エンドレス グリーン プログラム2013の全体像と全社目標
  - ② 生産・購買部門の環境行動計画
  - ③ 物流部門の環境行動計画
  
- 3) 中部工場の環境改善事例紹介



## 環境中長期ビジョン2020について

2011年4月1日

大和ハウス工業株式会社  
技術本部 環境部



Daiwa House Group

© 2007 Daiwa House Industry Co., Ltd. All rights reserved.

### 環境中長期ビジョン2020【ECOプロセス】

Daiwa House Group

#### 【環境中長期ビジョン2020】

大和ハウスグループは、環境と共生し人が心豊かに生きる暮らしと社会の実現を目指し、住宅や建築物のライフサイクルにおける「環境負荷ゼロ」に挑戦する

#### 地球温暖化防止

2020年までに、グループ全体のCO2排出量を2005年度比で30%削減することを目指す。

#### 資源保護

2020年までに、新築住宅・建築の生産・施工に伴う廃棄物排出量を2010年度比で30%以上削減した上で、住宅・建築ともにゼロエミッションの拡大を目指す。

#### 自然環境との調和(生物多様性保全)

2020年までに、新築住宅・建築で使用する建材・原材料の調達および全ての開発事業において、生物多様性の保全に配慮したプロセスとすることを目指す。

#### 有害化学物質による汚染防止

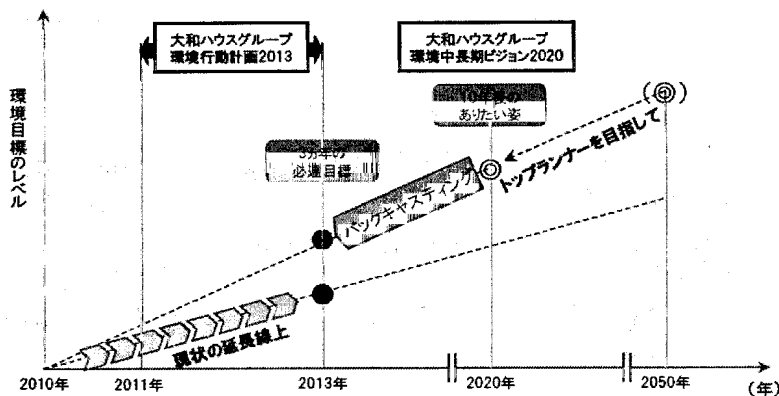
2020年までに、PRTR対象物質の排出・移動量を2010年度比で10%以上削減するとともに、生産工程でのVOC排出量を2010年度比で20%以上削減することを目指す。

© 2007 Daiwa House Industry Co., Ltd. All rights reserved.

環境中長期ビジョンと環境行動計画2013の位置付け

Daiwa House Group.

国内外の動向、社会の変化を見据え、「10年後のありたい姿(=中長期ビジョン)」を描き、バックキャスティングにより2013年度の目標水準を設定

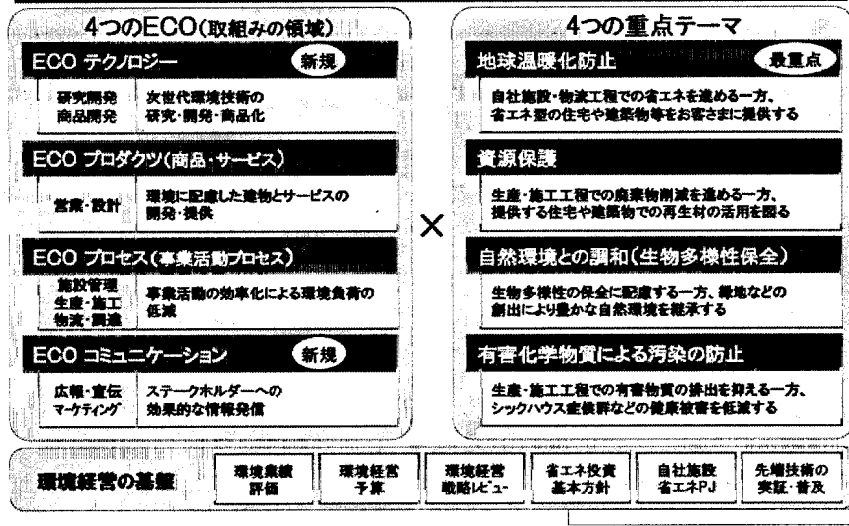


© 2007 Daiwa House Industry Co., Ltd. All rights reserved.

「エンドレス グリーン プログラム 2013」の全体像

Daiwa House Group.

「4つのECO」「4つの重点テーマ」に関して2013年度目標を設定し、達成に向けて環境経営基盤を整備する

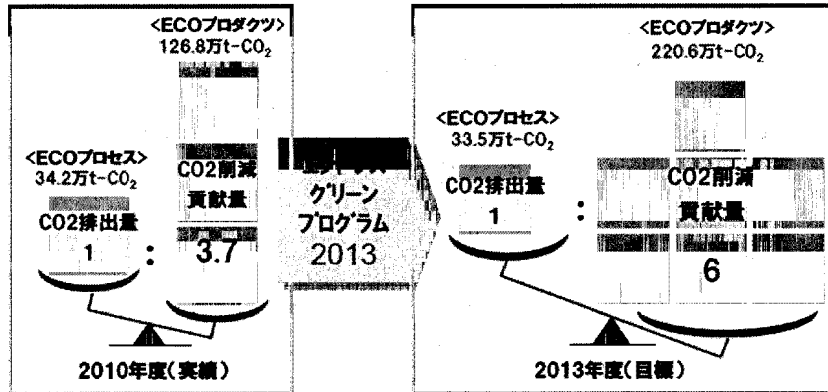


© 2007 Daiwa House Industry Co., Ltd. All rights reserved.

## C02削減貢献度を6倍以上へ拡大

2011.11/29修正

- ▶2010年度は、目標「C02ダブルスコア」を達成
- ▶2013年度は、全事業において環境配慮商品の取り組みを拡大し、C02削減貢献度をC02排出量の6倍以上とする



・C02排出量(実測): 当該年度の事業活動プロセスに伴うC02排出量  
 ・C02削減貢献量(推計): 当該年度に供給した住宅や建築物の生産にわたるC02削減量(1990年時仕様比)

© 2007 Daiwa House Industry Co., Ltd. All rights reserved.

## 重点戦略:「全社エネルギー管理体制に基づく省エネ活動の展開」

さらなる地球温暖化  
対策への挑戦

### 【ECOプロセス】 重点施策

- ・ 自社施設における運用改善の継続と計画的な設備更新
- ・ グループ施設における省エネ推進事業場での取り組みと水平展開

#### ■ 自社施設での主な取り組み

施設	取り組み内容
本社ビル	▶ 照明の高効率化(レフボライト) ▶ BEMSの導入(中央監視装置の更新) ▶ 熱源機器修理・更新
東京ビル	▶ 照明の高効率化(レフボライト) ▶ BEMSの導入(中央監視装置の更新) ▶ 運用改善(見える化⇒診断⇒最適運転)
全国 事業所	▶ 照明の高効率化(LEDまたはレフボライト) ▶ 空調設備の更新 ▶ 空調効率改善機器の導入 ▶ 運用改善(見える化⇒診断⇒最適運転)
全工場	▶ ファン、ポンプ、集塵機のインバータ化 ▶ レフボ、LED導入 ▶ DPM(ディーパワーモニター)の導入 ▶ 運用改善(見える化⇒診断⇒最適運転)

※BEMS...ビルの機器・設備等の運転管理によってエネルギー消費量の削減を図るためのシステム

#### ■ グループ施設での主な取り組み

施設	取り組み内容
ロイヤル ホテル 浜名湖	▶ 空調熱源の更新(ヒートポンプチラー導入) ▶ エコキュートの導入 ▶ レフボ、LED導入 ▶ 運用改善(見える化⇒診断⇒最適運転)
ロイヤル ホーム センター 千葉店 千葉北店	▶ 空調機器の更新(ヒートポンプタイプ) ▶ レフボ導入等 ▶ 運用改善(見える化⇒診断⇒最適運転)
スポーツ クラブ NAS 吉祥寺店	▶ ガスコージェネの導入 ▶ ボイラーの更新 ▶ ファン、ポンプのインバータ化 ▶ 運用改善(見える化⇒診断⇒最適運転)

© 2007 Daiwa House Industry Co., Ltd. All rights reserved.

**重点戦略:「全事業において環境配慮商品への取り組みを拡大」**

さらなる地球温暖化  
対策への挑戦

**【ECOプロダクト】  
重点施策**

- ・ 太陽光発電システムの取り組み拡大
- ・ 環境エネルギー事業の拡大
- ・ 建築系事業における環境提案力強化と環境配慮新商品開発

■太陽光発電の搭載率と採用件数

事業	2010実績	2013目標
住宅	48%	70%
集合	200件(5%)	600件(15%)
マンション	3件	6件
リフォーム	1,340件	1,800件
建築	10件	50件

■環境エネルギー事業の拡大

- ・ 環境エネルギー商材を自社施設で導入し、ショールーム的な活用で顧客に対する訴求力を強化
  - ▶レフボ、LED、ディーパワーモニター等の導入
- ・ 自社施設の省エネ改善事例を環境エネルギー事業にフィードバックし、営業ツールとして活用
  - ▶工場、事務所等の省エネノウハウ

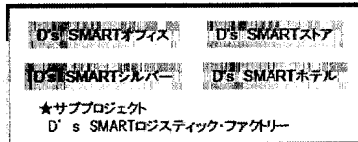
■建築系事業における環境提案力強化

- ・ 事業所支援の本社専門部署の強化 (企画開発部:環境技術G)
- ・ 事業所設計技術者の環境提案教育
- ・ 省エネ提案のパッケージ化

■環境配慮新商品の開発

D's SMARTプロジェクト

先進技術でエネルギーを“カシコクつかう”  
新しい建築提案プロジェクト



© 2007 Daiwa House Industry Co., Ltd. All rights reserved.

**重点戦略:「人と自然が共創する街づくりの提案」**

生物多様性保全の  
取り組み推進

◆ 建設時における生物多様性への影響を認識し、回避・低減に努めるとともに、生態系に配慮した街づくりの提案を実施

【重点施策】

- ・ 生物多様性に配慮した先導事例の創出

■先導事例とは  
生物多様性だけでなく、環境全般や防犯、コミュニティ育成の仕掛けなど複合的に他(物件・社)の目標となる物件

<施工例> 【ブルームスクエア せんたい置の社】



【越谷レイクタウン】第18回地球環境大賞を受賞



【重点施策】

- ・ 生物多様性ガイドライン【開発・街づくり編】の運用

■企画/設計段階で4項目(1~4)、施工/アフター段階で2項目(5、6)、計6つの配慮項目を設定

生物多様性ガイドライン【開発・街づくり編】

1. 自然環境のポテンシャルの把握
2. 緑の保全・創出
3. 野生小動物の生息・生育環境への配慮
4. 生態系ネットワーク形成のための配慮
5. 工事中の影響の低減
6. 維持管理面における配慮

■6つの配慮項目に沿って、部門ごとにチェックリストを作成。全事業部門においてチェックリストを運用することで、確実な方針展開を実施。

生物多様性ガイドライン 【開発・街づくり編】	都市開発部門チェックリスト
	戸建住宅部門チェックリスト
	集合・マンション 流通・建築部門 チェックリスト

© 2007 Daiwa House Industry Co., Ltd. All rights reserved.

**重点戦略:「生態系に配慮した資源の利用」**

生物多様性保全の  
取り組み推進

◆ 生物多様性に関する法令遵守に留まらず、高い倫理観に基づき、サプライヤーと協働で、持続可能な資源の利用に努める

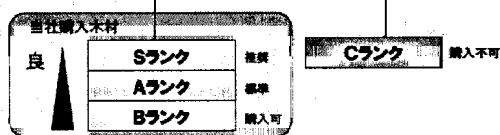
**【重点施策】 生物多様性ガイドライン【木材調達編】の運用拡大**

■ 独自基準として認証・再生・当社推奨木材を定め、これらの木材を積極的にサプライヤーから調達し、生物多様性保全に努める

**生物多様性ガイドライン【木材調達編】  
(調達する木材)**

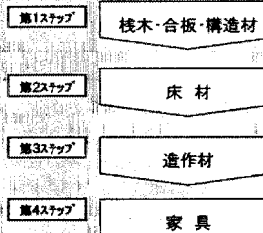
1. 認証木材…FSC(森林管理協議会)等の認証機関より認証を受けている木材
2. 再生木材…建設廃材のリサイクル木材(パーティクルボードなど)
3. 当社推奨木材…合法性と持続可能性を確認し、一定レベル以上と判断された木材

**木材調達評価基準** ※合法性や生態系への配慮などについて4段階で評価



■ 住宅(戸建・集合)における対象部材を順次拡大

**展開ステップ**



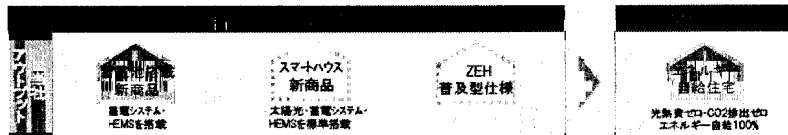
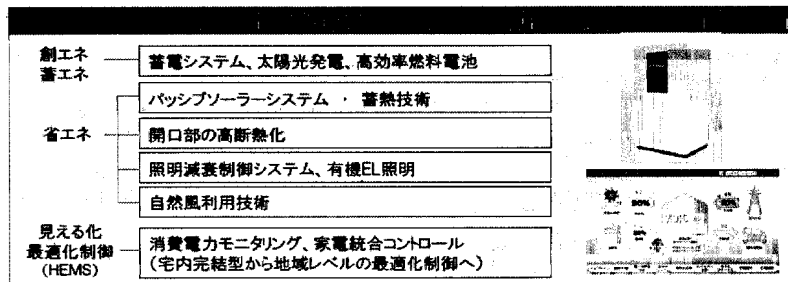
※同様のステップで、マンション・建築系にも順次拡大

© 2007 Daiwa House Industry Co., Ltd. All rights reserved.

**重点戦略:「省エネ+創エネ+蓄エネ技術」の統合**

ZEH, ZEBの実現に  
向けた技術開発

◆ リチウムイオン電池を核に省エネ・創エネ・蓄エネ技術の統合を図り、他社に先駆けてZEH, ZEBの普及を図る



※当社アウトプットは研究所のロードマップから抜粋

© 2007 Daiwa House Industry Co., Ltd. All rights reserved.

**重点戦略:「ステークホルダーを巻き込んだコミュニケーションの展開」**

ステークホルダーへの  
効果的な情報発信

◆ 従業員や地域社会など、ステークホルダーと共に考え、実行する共創型のコミュニケーションを企画・推進する

■ 環境WEBサイトを軸とした情報発信の強化と双方向コミュニケーション

- ▶ 環境WEBサイトのリニューアル
  - ・ 未来に向けた環境コンセプトコンテンツの追加
  - ・ 投稿機能など一般生活者を巻き込んだ双方向コミュニケーションを強化



環境WEBサイト

■ 地域社会と連携した環境コミュニケーション活動の展開

- ▶ 桜プロジェクトの全国展開
  - ・ 環境配慮商品の販売に応じて、地域の幼稚園・小学校で桜の植樹イベントを実施
- ▶ こどもエコ・ワークショップの継続
  - ・ エコな家模型づくりを通じて、次代を担う子供たちに建築の楽しさと環境の大切さを伝える



幼稚園での桜の植樹の様子

■ 社内報、環境コンテストを通じたインナーコミュニケーションの強化

- ▶ 環境社内報「We Build ECO プレス」による情報発信
  - ・ 事業所での環境活動の紹介による環境意識の向上
- ▶ 優秀事例社長表彰「We Build ECO コンテスト」の充実
  - ・ 社長表彰制度による環境活動への動機付け



H22年度社長表彰

© 2007 Daiwa House Industry Co., Ltd. All rights reserved.

**環境活動の対象範囲を拡大**

DaiwaHouse Group.

- ▶ 環境行動計画2013では、対象範囲を「全ての子会社(SPC、孫会社を除く)」へ拡大する
- ▶ 海外事業については、現地の環境法規制や他社の取り組み状況など現状把握に着手する

第1ステップ  
(2005~2007)

3社



- 大和ハウス工業
- 大和リゾート
- ロイヤルホームセンター

第2ステップ  
(2008~2010)

13社



- 大和物流
- 大和リース
- ダイワラクダ工業
- ダイワハウス・リニュー
- 大和エネルギー
- 大和情報サービス
- ダイワロイヤル
- 大阪マルビル
- 日本体育施設運営
- ダイワロイヤルゴルフ

第3ステップ  
(2011~)

28社



全子会社  
(SPC除く)

- エネサーブ
- 大和ライフネクスト
- 寿康会
- シンクローラー
- 伸和エージエンシー
- ダイワサービス
- 大和ハウスインシュアランス
- 大和ハウス・リトマネジメント
- 大和ランテック
- 大和リビング
- 日本住宅流通
- メディアテック
- 富士
- 大和ハウスアパレル
- 大和ハウス・モリスト
- アセットマネジメント

海外(中国)における環境法規制等の現状把握に着手(2011年度~)

© 2007 Daiwa House Industry Co., Ltd. All rights reserved.

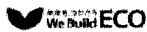


## 環境行動計画2013の全社目標

【エントレス グリーン プログラム 2013】

2011年4月1日 ※2011.11/29 社外発表に合わせて2013目標を一部修正

大和ハウス工業株式会社  
技術本部 環境部



Daiwa House Group

© 2007 Daiwa House Industry Co., Ltd. All rights reserved.

### 全社目標 ①【ECOプロセス】

2011.11/29修正

全事業プロセスにおいて環境負荷・リスクを低減するとともに、コスト削減および原価低減により利益の拡大を図る

重点テーマ	2013年度目標	対象範囲	主要施策	
CO2排出量の少ない 事業プロセスへの改善	CO2排出量 2010年度比 2%削減	【全社】 事務所・倉庫・工場 特別・施工現場 展示場・研修センター 競合施設...等	【グループ】 リーディング工場 ビジュアル・商業施設 本社・工場・工場 物流センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>高効率設備の導入</li> <li>LED・見える化による運用改善</li> <li>自社施設各CO2先導PJ</li> </ul>
廃棄物の少ない生産・ 施工プロセスへの改善	建設廃棄物排出量 (売上高あたり) 2010年度比 10%削減	【大和ハウス】 工場・施工現場	【グループ】 大和リースの分社 その他工場の分社	<ul style="list-style-type: none"> <li>リサイクルの推進</li> <li>梱包材の推進 ※標準系</li> <li>GPSAS運用拡大 ※標準系</li> <li>材料捨出しの改善 ※標準系</li> <li>インフラ現場でのEコマース活用</li> </ul>
リサイクルの推進	建設廃棄物リサイクル率 95%以上	【大和ハウス】 工場・集合	【対象材料】 構造材・柱・床材 合板類・床材	<ul style="list-style-type: none"> <li>木材調達におけるリサイクル材の活用拡大</li> </ul>
生物多様性に配慮した 資材の調達	生産系に配慮した 木材調達比率 99%	【大和ハウス】 工場・集合	【グループ】 大和リースの分社	<ul style="list-style-type: none"> <li>材料（塗料、接着剤）の代替・削減</li> <li>塗料方法の改善</li> <li>適正管理の推進</li> </ul>
有害化学物質使用の 少ない生産・施工 プロセスへの改善	PRTR対象物質の 排出・移動量 2010年度比 6%削減	【全社】 工場・施工現場 ※現状把握のみ	【グループ】 大和リースの分社 ※現状把握のみ	
有害溶剤使用の少ない 生産プロセスへの改善	VOC排出量 2010年度比 2%削減	【大和ハウス】 工場	【グループ】 大和リースの分社 ※現状把握のみ	

© 2007 Daiwa House Industry Co., Ltd. All rights reserved.



全社目標 ②【ECOプロダクツ】

2011.11/29修正

環境配慮商品・サービスの普及を通して環境負荷を低減するとともに、商品の競争力や付加価値を高めることで売上の拡大を図る

実行テーマ	2013年度目標	対象範囲	主要施策
CO2排出量の少ない住宅・建築物の普及	住宅・建築における戸(m)あたりのCO2削減率 1990年度比 20%	戸建 1990年度比 35% 集合 1990年度比 20% マンション 1990年度比 29% 流通・小売 1990年度比 20% 建築 大 1990年度比 35%	【大規模ハウス】 戸建・集合・マンション 流通・建築 >省エネ・創エネ機種の積極的な提案 >建地診断を通じた省エネ・創エネの提案 >環境配慮設計教育 >省CO2先導PJの選定と検証 >環境配慮提案の強化
	CO2削減貢献量 220万t-CO2以上		【大規模ハウス】 戸建・集合・マンション 流通・建築・小売 環境134F 【グループ】 大和ハウス・大和ハウス工業
資源循環に配慮した住宅・建築物の普及	D-TEC・ECO+採用率 ※対象地域のみ 50%以上		【大規模ハウス】 戸建・集合 >環境対応、対象地区の拡大
	再生建材*採用率 ※主要3品目 2010年度比 +10ポイント以上	【流通】 200棟/年以上 【建築】 80棟/年以上	【大規模ハウス】 流通・建築 >協力会社と連携したグリーン調達強化
生物多様性に配慮した緑あふれる街づくりの推進	システム建築採用棟数	【開発】 90%以上 【建設】 80%以上	【大規模ハウス】 戸建・マンション 集合・流通 建築・都市開発 >全館7/8への採用標準化
	生物多様性 自社指針適合率 ※対象物件のみ		>開発・街づくり134F の活用と教育
居住系建物における室内空気質の改善	室内空気質の厚労省指針値 1/2以下の適合率 ※居住系建物のみ 100%	【大規模ハウス】 戸建・マンション 集合・流通 建築 【グループ】 大和ハウス	>低VOC建材の切り替え >換気方式の改善

© 2007 Daiwa House Industry Co., Ltd. All rights reserved.



Daiwa House Group

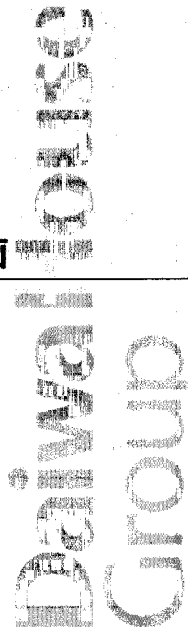
【エンドレス グリーン プログラム 2013】

生産・購買部門の環境行動計画

～環境にやさしい生産現場を目指して～

2011年 4月 1日 ※2011.11/29 更新

生産購買本部 生産部長  
執行役員 田中 彰二



© 2007 Daiwa House Industry Co., Ltd. All rights reserved.

部門別目標一覧

生産・購買部門

全社重点テーマ		管理指標	評価対象	2010年 (実績)	2013年 (目標)	備考
地球温暖化防止	生産におけるCO2排出量の削減	CO2排出量	全10工場	21,079t	19,393t (2010年度比) -8%	先導事例の水平展開と平行し、環境商品(D/パワーモニター)を全10工場に導入
	生産における廃棄物排出量の削減	廃棄物排出量	全10工場	18,987t	18,418t (2010年度比) -3%	
資源保護	廃棄物再生品の開発・社内運用	再生品開発・社内運用数 (※1)	廃プラスチック・ガラス陶磁器くず・木くず・汚泥	—	3品目	※1. 再生品開発・社内運用とは、当社の産業廃棄物発生した部材を社内で運用または外販ができた事例数
	生態系に配慮した資源の調達	CSR木材調達比率(※2)	桧木・LVL・合板・床材(住宅・異合・木道)	97.1%	99%	※2. CSR木材調達比率とは、生態系に配慮した独自のチェックリストにおいて70点(70%)以上とする。(110点満点)
自然環境との調和 による汚染防止	生産におけるPRTR対象物質の削減	PRTR対象物質排出・移動量 (※3)	全10工場	75,532kg	71,000kg (2010年度比) -6%	※3. PRTR対象物質とは、化学物質の自主的な管理の促進を求める「PRTR法」が制定。対象物質の取扱い手帳等は化学物質の控製と管理が義務化。
	生産におけるVOC対象物質の削減	VOC排出量 (※4)	全10工場	310,494kg	304,284kg (2010年度比) -2%	※4. VOC対象物質とは、大気中へ排出する揮発性物質を抑制する「VOC規制」。自主的な取り組みでの削減を規定。

© 2007 Daiwa House Industry Co., Ltd. All rights reserved.

重点方針と重点施策①

生産・購買部門

<重点方針>

- ① 省エネ推進事業場の先導事例を創出するとともに、全工場へ改善事例・手法を展開し、CO2排出量を削減する
- ② D/パワーモニターによるエネルギーの見える化を推進し、エネルギー使用量を削減することでCO2排出量を削減する

<分野別方針と重点施策>

分野	方針	重点施策	環境管理指標	2010年 (見込)	2013年 (目標)	備考
地球温暖化防止	① 省エネ推進事業場の先導事例の水平展開	推進事業場における第二段階省エネ施策を実施	CO2排出量	—	(2010年度比) -5%	
		栃木二宮・竜ヶ崎・堺工場への展開	CO2排出量	—	(2010年度比) -10%	
		奈良・三重・岡山工場への展開	CO2排出量	—	(2010年度比) -8%	
		東北・新潟・中部への展開	CO2排出量	—	(2010年度比) -6%	
	② D/パワーモニターによるエネルギーの見える化	栃木二宮・竜ヶ崎工場へ導入	導入時期	—	2011年度 7月	
		奈良・三重・岡山工場へ導入	導入時期	—	2012年度 5月	
東北・新潟・中部へ導入		導入時期	—	2012年度 1月		

© 2007 Daiwa House Industry Co., Ltd. All rights reserved.

重点方針と重点施策②

生産・購買部門

分野	方針	重点施策	環境管理指標	2010年 (見込)	2013年 (目標)	備考
資源保護	生産における廃棄物排出量の削減	72期までの端材活用事例の展開	鋼材	—	1,150t	
			木屑	—	150t	
			面材	—	50t	
	廃棄物再生品の開発・社内運用	廃フラ、木屑のリサイクル品の開発	採用件数	—	1件	
		ガラス陶磁器類のリサイクル品の開発	採用件数	—	1件	
汚泥その他の廃棄物のリサイクル品の開発		採用件数	—	1件		
自然環境との調和	生態系に配慮した材料の調達	枝木・合板・構造材における木材調達の評価を行い、生態系に配慮した資源の調達実施	CSR木材調達比率	—	99%	
有害化学物質	PRTR対象物質の削減	階段吹き付け塗料の代替	キシレン・エチルベンゼン・トルエン	—	(2010年度比) -5%	
		電着補修塗料を改善	キシレン・エチルベンゼン・トルエン	—	(2010年度比) -12%	
	VOC対象物質の削減	網継塗装排除による塗料使用量の削減	塗料削減量	—	(2010年度比) -3%	

© 2010 Daiwa House Group All rights reserved. April 18, 2011

© 2007 Daiwa House Industry Co., Ltd. All rights reserved.



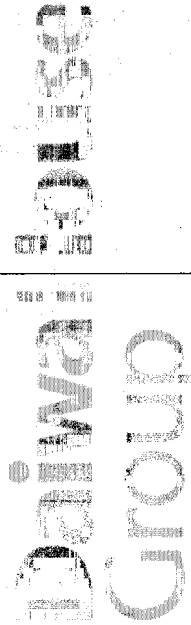
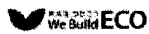
【エンドレス グリーン プログラム 2013】

物流部門の環境行動計画

～ 効率化に根拠した環境負荷低減への取り組み ～

2011年 4月 1日 ※2011.11/29 更新

生産購買本部 生産部長  
執行役員 田中 彰二



© 2007 Daiwa House Industry Co., Ltd. All rights reserved.

部門別目標一覧		物流部門				
全社重点テーマ	管理指標	評価対象	2010年 (実績)	2013年 (目標)	備考	
地球温暖化防止	輸送におけるCO2排出量の削減	CO2排出量 ・工場～施工現場 ・工場～工場 ・施工現場～工場	24,306t	22,848t (2010年度比) -6%		
	施工現場出荷におけるCO2排出量の削減	積載効率※1	8.82㎡/台	9.11㎡/台	※1. 鉄骨住宅2階建4t現場での積載効率 積載効率=建築床面積[㎡]/出荷台数[台]	
	工場間輸送におけるCO2排出量の削減	CO2排出量(2010年度比)※2	900t	800t (2010年度比) -100t	※2. 岡山工場→四国配送センターなどの完成品転送など	
	廃棄物回収におけるCO2排出量の削減	CO2排出削減量(2010年度比)	施工現場～工場 ～排出先(廃棄物)	2,490t	2,190t (2010年度比) -300t	
		排出先長距離(100km以上)ルート削減数	工場～工場 (廃棄物)	55ルート (現存)	10ルート	
	エコ車種の積極的導入	アイドリングストップ導入数	自社車両搭載台数※3	283/479台	385/479台	※3. 大和物流様自社車両における搭載台数。 各装置搭載済車両数/各装置搭載可能車両数 (エコクレーンはエコック車のみ)
		エコヒーター導入数		267/479台	369/479台	
エコクレーン導入数		27/171台		63/171台		
エコ乗務員の育成	エコドライブ教育の受講者数	-	170名 /2010年度	420名 /3ヶ年		

© 2005 Daiwa House Group All rights reserved. April 18, 2011  
© 2007 Daiwa House Industry Co., Ltd. All rights reserved.

重点方針と重点施策①		物流部門				
分野	方針	重点施策	環境管理指標	2010年 (見込)	2013年 (目標)	備考
地球温暖化防止	<b>&lt;重点方針&gt;</b>					
	① 施工現場出荷におけるCO2排出量の削減: 積載効率の向上による配車台数の削減					
	② 工場間輸送におけるCO2排出量の削減: 長距離運行ルートの見直し(エコシップ認証)					
③ 廃棄物回収におけるCO2排出量の削減: 廃棄物速回便の回収効率を向上させ、輸送距離を削減						
<b>&lt;分野別方針と重点施策&gt;</b>						
地球温暖化防止	① 施工現場出荷におけるCO2排出量の削減	積載効率を考慮した配車計画の作成・実施による配車台数を削減	積載効率※1	8.82㎡/台	9.11㎡/台	※1. 鉄骨住宅2階建4t現場での積載効率 積載効率=建築床面積[㎡]/出荷台数[台]
	② 工場間輸送におけるCO2排出量の削減	エコシップ(東北工場→北海道)の認証	エコシップマークの認証※2	-	認証維持	※2. エコシップマーク 国土交通省海事局による認証制度。フェリー輸送へのモーター燃料消費度を評価
		工場間輸送の長距離輸送物件を抽出し、ルートの見直しを実施	CO2排出量	900t	800t	
③ 廃棄物回収におけるCO2排出量の削減	巡回便の回収効率を高め、輸送距離の低減を実施	CO2排出量	2,490t	2,190t		
	遠距離の廃棄物委託先への見直しをかけ、輸送距離の低減を実施	ルート削減数	55 ルート現存	10 ルート		

© 2005 Daiwa House Group All rights reserved. April 18, 2011  
© 2007 Daiwa House Industry Co., Ltd. All rights reserved.



# 中部工場のEMP

Daiwa House

方針	環境目的	管理項目	実績					目標			
			2007年度 6期	2008年度 7期	2009年度 7期	2010年度 72期(日保値)	2010年度 72期(新保値)	2011年度 73期	2011年度 74期	2012年度 75期	
4-①	施設緑化の防止	生産CO <sub>2</sub> 排出量 [t]	515	550	517	570	501	491	491	453	
		CO <sub>2</sub> 排出量(生産系)の削減 原単位 [t-CO <sub>2</sub> /百万円]	0.231	0.152	0.201	0.230	0.157	0.163	0.145	0.129	
		実績事項	2009年度比19.2%削減 2010年度比14.2%削減	取組工場の3ヶ所 にCO <sub>2</sub> 削減設備の 導入、工場内の エネルギー効率 向上を図る	取組工場の3ヶ所 にCO <sub>2</sub> 削減設備の 導入、工場内の エネルギー効率 向上を図る	取組工場の3ヶ所 にCO <sub>2</sub> 削減設備の 導入、工場内の エネルギー効率 向上を図る	取組工場の3ヶ所 にCO <sub>2</sub> 削減設備の 導入、工場内の エネルギー効率 向上を図る	取組工場の3ヶ所 にCO <sub>2</sub> 削減設備の 導入、工場内の エネルギー効率 向上を図る	取組工場の3ヶ所 にCO <sub>2</sub> 削減設備の 導入、工場内の エネルギー効率 向上を図る	取組工場の3ヶ所 にCO <sub>2</sub> 削減設備の 導入、工場内の エネルギー効率 向上を図る	取組工場の3ヶ所 にCO <sub>2</sub> 削減設備の 導入、工場内の エネルギー効率 向上を図る
4-②	CO <sub>2</sub> 排出量(物流系)の削減	物流系CO <sub>2</sub> 排出量 [t]	419	527	517	704	712	698	684	670	
		原単位 [t-CO <sub>2</sub> /百万円]	0.174	0.145	0.240	0.283	0.237	0.232	0.202	0.191	
		実績事項	2009年度比14.2%削減 2010年度比14.2%削減	取組工場の3ヶ所 にCO <sub>2</sub> 削減設備の 導入、工場内の エネルギー効率 向上を図る	取組工場の3ヶ所 にCO <sub>2</sub> 削減設備の 導入、工場内の エネルギー効率 向上を図る	取組工場の3ヶ所 にCO <sub>2</sub> 削減設備の 導入、工場内の エネルギー効率 向上を図る	取組工場の3ヶ所 にCO <sub>2</sub> 削減設備の 導入、工場内の エネルギー効率 向上を図る	取組工場の3ヶ所 にCO <sub>2</sub> 削減設備の 導入、工場内の エネルギー効率 向上を図る	取組工場の3ヶ所 にCO <sub>2</sub> 削減設備の 導入、工場内の エネルギー効率 向上を図る	取組工場の3ヶ所 にCO <sub>2</sub> 削減設備の 導入、工場内の エネルギー効率 向上を図る	取組工場の3ヶ所 にCO <sub>2</sub> 削減設備の 導入、工場内の エネルギー効率 向上を図る
		内 陸	走行距離へ 燃費 [t]	169	233	134	193	189.21	184.94	181.18	177.29
		カーシェア 燃費 [t]	-	0	1	2	9.52	9.72	9.62	9.26	
		運搬物材 燃費+ガス燃費 [t]	-	6	0	0	9	9.09	9.09	9.00	
		走行距離へ システム燃費 [t]	150	208	383	380	277.18	269.65	265.10	254.56	
		カーシェア システム燃費 [t]	-	34	79	99	107.27	103.61	103.40	101.30	
		走行距離から燃費 [t]	55	39	30	21	21.11	20.69	20.27	19.84	
		運搬物燃費 [t]	15	7	10	8	7.67	7.71	7.58	7.40	
4-③	資源循環	資源物排出量 [t]	556	444	420	430	429	425	418		
事業活動に伴って発生する 資源物排出量の削減	原単位 [t/百万円]	0.231	0.123	0.163	0.173	0.143	0.142	0.125	0.119		
実績事項	2009年度比24.9%削減 2010年度比24.9%削減	取組工場の3ヶ所 にCO <sub>2</sub> 削減設備の 導入、工場内の エネルギー効率 向上を図る	取組工場の3ヶ所 にCO <sub>2</sub> 削減設備の 導入、工場内の エネルギー効率 向上を図る	取組工場の3ヶ所 にCO <sub>2</sub> 削減設備の 導入、工場内の エネルギー効率 向上を図る	取組工場の3ヶ所 にCO <sub>2</sub> 削減設備の 導入、工場内の エネルギー効率 向上を図る	取組工場の3ヶ所 にCO <sub>2</sub> 削減設備の 導入、工場内の エネルギー効率 向上を図る	取組工場の3ヶ所 にCO <sub>2</sub> 削減設備の 導入、工場内の エネルギー効率 向上を図る	取組工場の3ヶ所 にCO <sub>2</sub> 削減設備の 導入、工場内の エネルギー効率 向上を図る	取組工場の3ヶ所 にCO <sub>2</sub> 削減設備の 導入、工場内の エネルギー効率 向上を図る		

© 2007 Daiwa House Industry Co., Ltd. All rights reserved.

Daiwa House

方針	環境目的	管理項目	実績					目標			
			2007年度 6期	2008年度 7期	2009年度 7期	2010年度 72期(日保値)	2010年度 72期(新保値)	2011年度 73期	2011年度 74期	2012年度 75期	
-	有害化学物質による汚染防止	排出量と移動量 [kg]				3,103	3,411	3,364	3,395	3,269	
		製造プロセスによる PRT対象物質の削減	原単位 [mg/百万円]						1,125	977	916
		実績事項							2010年度比 0.80%削減	2010年度比 1.02%削減	2010年度比 5.92%削減
-	有害化学物質による汚染防止	排出量と移動量 [kg]				14,163	19,200	19,113	18,765	18,757	
		製造プロセスによる VOC対象物質の削減	原単位 [mg/百万円]						6,926	5,545	5,355
		実績事項							2010年度比 0.65%削減	2010年度比 2.45%削減	2010年度比 2.32%削減
-	資源循環	未資源使用量 [kg]	6,295	6,420	4,978	4,972	4,922	4,823	4,674	4,525	
		事業活動に伴って発生する 未資源の削減を促す	原単位 [mg/百万円]	2,865	1,772	1,897	1,998	1,553	1,604	1,391	1,292
		実績事項	2009年度比23.9%削減 2010年度比23.9%削減	取組工場の3ヶ所 にCO <sub>2</sub> 削減設備の 導入、工場内の エネルギー効率 向上を図る	取組工場の3ヶ所 にCO <sub>2</sub> 削減設備の 導入、工場内の エネルギー効率 向上を図る	取組工場の3ヶ所 にCO <sub>2</sub> 削減設備の 導入、工場内の エネルギー効率 向上を図る	取組工場の3ヶ所 にCO <sub>2</sub> 削減設備の 導入、工場内の エネルギー効率 向上を図る	取組工場の3ヶ所 にCO <sub>2</sub> 削減設備の 導入、工場内の エネルギー効率 向上を図る	取組工場の3ヶ所 にCO <sub>2</sub> 削減設備の 導入、工場内の エネルギー効率 向上を図る	取組工場の3ヶ所 にCO <sub>2</sub> 削減設備の 導入、工場内の エネルギー効率 向上を図る	取組工場の3ヶ所 にCO <sub>2</sub> 削減設備の 導入、工場内の エネルギー効率 向上を図る
-	各地域から発生する副産物の削減と資源の活用	資源物の回収率 [%]	55	55	53	54	54	53	53	53	
		低減し資源活用を促進する 副産物の削減	[kg]	-	-2kg	-2kg	+1kg	+1kg	-2kg	-2kg	-2kg
		実績事項									

© 2007 Daiwa House Industry Co., Ltd. All rights reserved.

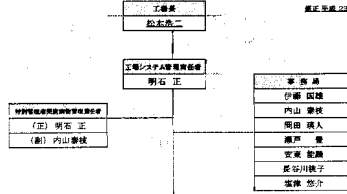
# 中部工場の環境改善活動の紹介

DaiwaHouse®

中部工場 環境委員会組織図7/3期



名称	設置	作成
原本に承認済み		
工場長	11/14 環境委員会 委員 松本英二	11/14 環境委員会 委員 松本英二
作成 平成 10年 7月 1日		
修正 平成 10年 11月 22日		



ハウス		協力会社													
地盤	建設	システム	品管	部品	部品	部品	部品	部品	部品	部品	部品	部品	部品	部品	部品
井上 和久	明石 正	伊藤 昌徳	菅原 悠介	菅原 悠介	菅原 悠介	菅原 悠介	菅原 悠介	菅原 悠介	菅原 悠介	菅原 悠介	菅原 悠介	菅原 悠介	菅原 悠介	菅原 悠介	菅原 悠介
井上 和久	明石 正	伊藤 昌徳	菅原 悠介	菅原 悠介	菅原 悠介	菅原 悠介	菅原 悠介	菅原 悠介	菅原 悠介	菅原 悠介	菅原 悠介	菅原 悠介	菅原 悠介	菅原 悠介	菅原 悠介

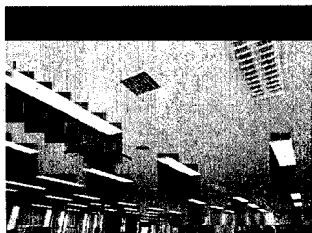
© 2007 Daiwa House Industry Co., Ltd. All rights reserved.

## 地球温暖化防止 活動事例

DaiwaHouse®

【製造・輸送に伴うエネルギー使用による温室効果ガス排出削減】

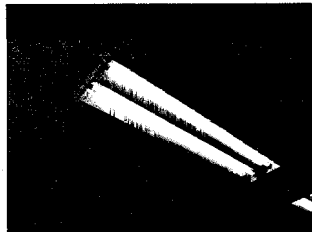
事務所 蛍光灯の間引きによる電力使用量の削減



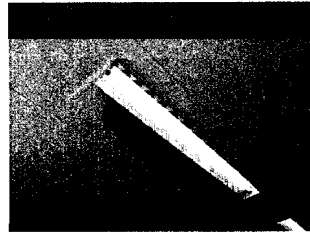
約1/3削減



事務所 高効率反射板を用いた天井照明により照度を確保した上での電力使用量の削減



32W×2本  
を1本に  
50%削減



© 2007 Daiwa House Industry Co., Ltd. All rights reserved.

地球温暖化防止 活動事例

DaiwaHouse

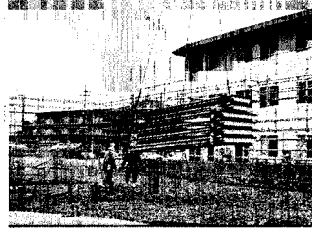
【製造・輸送に伴うエネルギー使用による温室効果ガス排出削減】

外壁パネルのラックレスによる積載効率の向上とラック引取り車両の削減

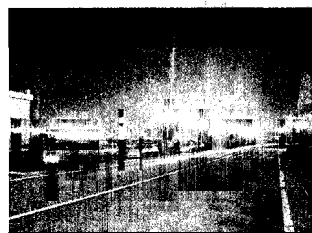


6段⇒7段積載

16%向上



200W灯光器×3台(600W/H)からLED街路灯29W×6台(174W/H)変更により電力使用量を1/3に削減(北側駐車場の夜間照明)



© 2007 Daiwa House Industry Co., Ltd. All rights reserved.

地球温暖化防止 活動事例

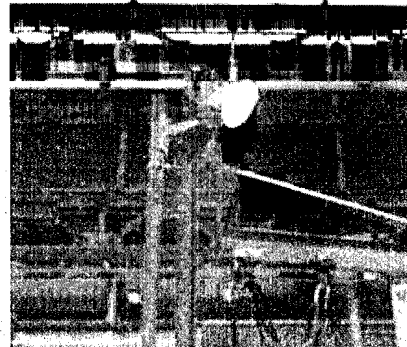
DaiwaHouse

【製造・輸送に伴うエネルギー使用による温室効果ガス排出削減】

常夜灯を200W投光器から20W蛍光灯への切替えによる電力消費量を1/10に削減



水銀灯450WからLED投光器118Wへの切替えによる電力消費量を約1/4に削減と照度アップによる作業環境の改善



5m先照度458LX ⇒ 531LX

© 2007 Daiwa House Industry Co., Ltd. All rights reserved.



地球温暖化防止 活動事例

Daiwa House

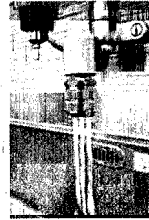
【製造・輸送に伴うエネルギー使用による温室効果ガス排出削減】

節水コマ設置による水資源使用量の削減

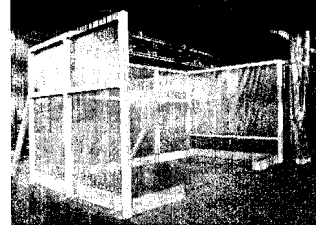
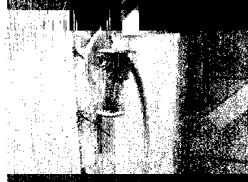


水量18ℓ/分から3ℓ/分

1/6に削減



高圧洗浄水による上水道使用量の削減や地下水利用による上水道使用量の削減



ガラス繊維補強セメント(GRC)外壁パネルの水洗い用

© 2007 Daiwa House Industry Co., Ltd. All rights reserved.

地球温暖化防止 活動事例

Daiwa House

【製造・輸送に伴うエネルギー使用による温室効果ガス排出削減】

クールビズ、ウオームビズ導入によるエアコン設定温度見直しによる電力使用量の削減

【スマート・ビズ】提案

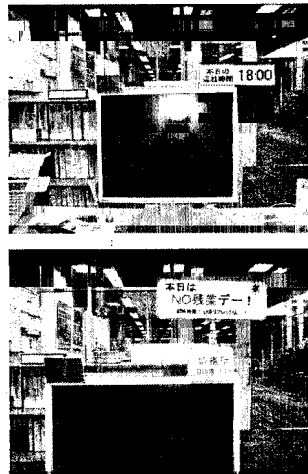
大和ハウスグループは  
チーム・マイナス25%に参画しています。

軽装と弱めの空調に  
ご理解とご協力をお願いします。

ご来店された皆様へ

大和ハウスグループでは環境意識が向上する  
環境意識向上「環境活動」  
「チーム・マイナス25%」の趣旨に賛同し、  
その活動の一環として夏(5月1日～9月31日)限定での暑  
「クールビズ」を実施しております。  
この期間中、お客様をはじめ従業員までを含めて薄着をすすめること、  
エアコンの設定温度を夏は28℃、冬は20℃に設定すること、  
紙や、紙類を削減すること、ご協力をお願いします。  
皆様のご協力をお願いします。お問い合わせはこちらです。

大和ハウスグループ



© 2007 Daiwa House Industry Co., Ltd. All rights reserved.

資源保護 活動事例

DaiwaHouse

【製造、集積、輸送から発生する廃棄物の削減】

ペットボトルのキャップ集めに御協力有難うございました。

H23. 3. リサイクルエイトさんにエコキャップとして依頼しました。

キャップを集める



13kg / 5,200個  
集まりました。

リサイクルされるキャップは「エコキャップ」と呼ばれます。

そして世界の子どもワクチンになります！  
今回は「ワクチン6.5人分」でした。



「NPO法人 エコキャップ推進協会」より  
400個/1kg  
ポリオワクチン1人分/800個

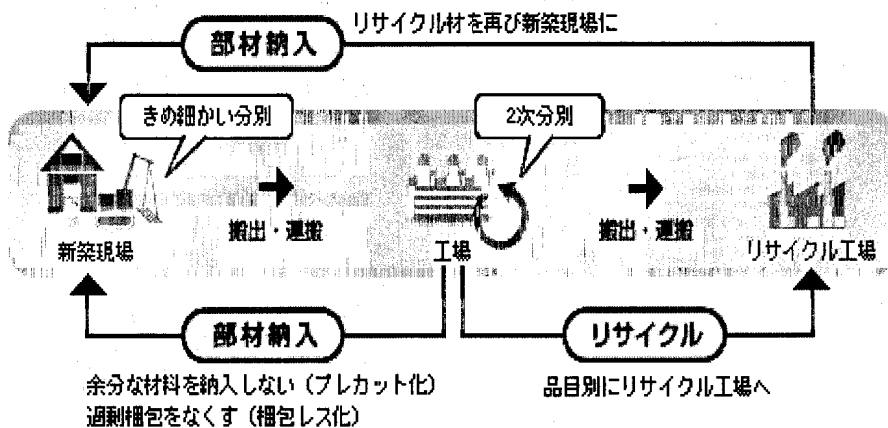
© 2007 Daiwa House Industry Co., Ltd. All rights reserved.

廃棄物の削減と企業リスクの低減活動

DaiwaHouse

中部工場は住宅工場ではありませんが、静岡県内の新築の住宅及び集合住宅の建設現場で発生する廃棄物は全て中部工場に持帰り更に二次分別をして有価物にしたり、リサイクル処理をしています。

<リサイクルへの取り組みイメージ図>



© 2007 Daiwa House Industry Co., Ltd. All rights reserved.

## 自然環境との調和 活動事例

Daiwa House

【生態系に配慮した環境保全活動の推進】

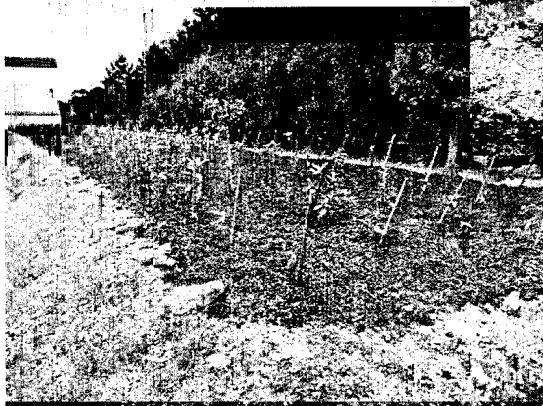


© 2007 Daiwa House Industry Co., Ltd. All rights reserved.

## 自然環境との調和

Daiwa House

平成21年3月 植樹 (500本)  
平成22年3月 には工場敷地内  
でどんぐりを採取し、発芽させた  
苗木を植樹 (600本)



### 植樹種

- ・クスノキ
- ・シラカシ
- ・スダジイ
- ・タブノキ
- ・ヤマモモ など

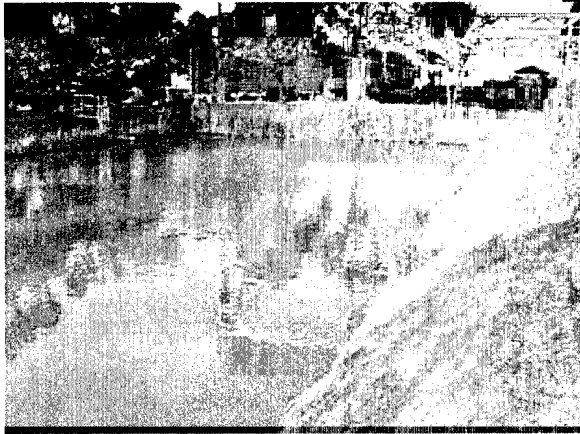
© 2007 Daiwa House Industry Co., Ltd. All rights reserved.

水資源の保護(調整池の整備)

DaiwaHouse.

以前までの調整池( pH値 MAX8.5 )

夏場の降雨量が少なく、調整池の水位が低下し水草が発生した場合にpHが上昇傾向に有りました。



浚渫工事

© 2007 Daiwa House Industry Co., Ltd. All rights reserved.

水資源の保護(調整池の整備)

DaiwaHouse.

設備調整後(pH値 7.2 ) ※規制値:5.8~8.6



工場敷地内で降った雨水を側溝を通じて調整池に入れる際に水を回転させ、タイマーにより噴水させることで、水が攪拌され濁みが少なく、Ph値も改善出来ました。

ソーラー式外灯の設置

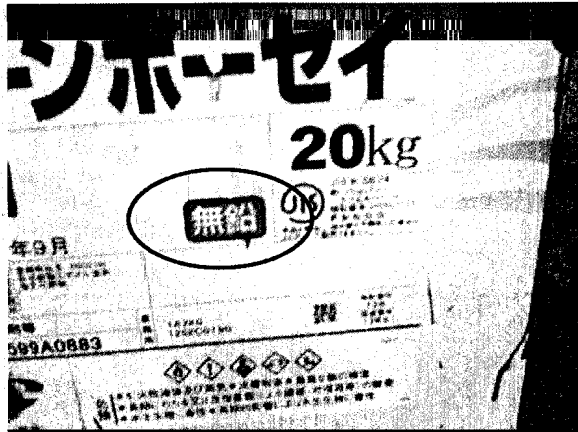


© 2007 Daiwa House Industry Co., Ltd. All rights reserved.

有害化学物質による汚染防止 活動事例  
【製造プロセスによる有害化学物質の削減】

Daiwa House.

有害化学物質PRTR対象物質が含有した塗料の削減  
鉄骨の錆止め塗料をJIS K 5625 シアナミド鉛錆止め塗料からJIS K 5674 鉛・クロムフリー錆止め塗料への仕様変更により有害化学物質使用量の削減を実施



© 2007 Daiwa House Industry Co., Ltd. All rights reserved.

環境改善活動の全社的取組と表彰制度

Daiwa House.

毎年Challenge! We Build ECO コンテストを実施。2011年度 中部工場は残念ながら入賞はありませんが、コツコツと改善を進めてきましたので、最多の9件を応募することが出来ました。

「Challenge! We Build ECO コンテスト2011」の結果について(通知)

標記の件、「Challenge! We Build ECOコンテスト2011環境優秀事例表彰の件(通知)」【本通発73第246-環境8号】にて結果が通知されていますが、補足として各工場から応募があった総件数26件の環境事例について、公表いたします。各工場が応募された事例は、どれも水平展開が可能な事例なので、内容を確認して今後の環境改善活動の参考にしてください。

記

- 1) 応募状況(全国応募総数:100件、工場応募件数:26件)  
全工場から1件以上の応募があり、今年も未提出の工場は無かった。  
応募件数の評価では、4工場が全事業所のトップ10位に入っている。

順位	事業所	件数
1	北陸信越工場	6
2	大田都市開発部	6
3	東証支店	6
4	本社・本店	4
4	阪神支店	4
4	原田倉庫	4
7	三重工場	3
7	岡山工場	3
7	九州工場	3
7	千葉支社	3
7	東証支店	3
7	武蔵野支店	3
7	奈良支店	3

工場の応募状況

工場名	工場	物流	合計
東北工場	2		
新潟工場	1		
栃木二宮工場	1		
埼玉鶴岡工場	2		
中部工場	9		
三重工場	3		
奈良工場	1		
岡山工場	3		
九州工場	3		
小計	26	0	26

- 2) 審査結果(1次～最終審査)  
(1) 社長賞事例;(工場は該当無し)  
(2) 環境担当役員賞;(工場は該当無し)  
(3) 優秀賞事例;「電力使用量削減によるCO2排出量削減と節電要請への取り組み」(奈良工場)  
(4) 部門賞;「外部往用スリットコイル幅縮小による鋼材使用量削減」(三重工場)

- 3) 水平展開について  
全ての応募事例を、以下の共有サーバーに入れてありますので、今後の環境改善活動のインプットとすること。  
※工場からの応募事例は、「提出事例一覧表」の通りです。

© 2007 Daiwa House Industry Co., Ltd. All rights reserved.

工場部門の環境改善コンテスト応募事例

Daiwa House.

提出事例一覧表

管理番号	部会	商品プロジェクト部門	内容	工場
024	工場	ECOプロセス	事務所室内温度、上昇抑制による電力消費の削減	九州工場
025	工場	ECOプロセス	検査装置設備の稼働時間を短縮し電力消費量の削減	九州工場
026	工場	ECOプロセス	コンプレッサーの適正設置及びインバータ化による電力削減	九州工場
027	工場	ECOプロセス	生産活動で発生する28mm合板の端材を現送集積リノ木として活用	岡山工場
028	工場	ECOプロセス	省エネ改善(変圧器統合による電気使用量・CO2排出量の削減)	岡山工場
029	工場	ECOプロセス	省エネ改善(循環ポンプ・インバータ設置による電気使用量・CO2排出量の削減)	岡山工場
030	工場	ECOプロセス	有害化学物質(PRTR対象物質)ノ揮発性有機化合物(VOC対象物質)削減への取り組み	堺工場
031	工場	ECOプロセス	外部柱用スリットコイル幅縮小による鋼材使用量削減	三重工場
032	工場	ECOプロセス	事務所空調機器電源ブレーカーのOFFによる待機電力削減	三重工場
033	工場	ECOプロセス	GRコイル用養生室の保護性UPを行い消費灯油量の削減	中部工場
034	工場	ECOプロセス	E-3ガラスコーティング洗浄水に地下水使用	中部工場
035	工場	ECOプロセス	H線ショットブラスト集塵機をインバータ変更による電力削減	中部工場
036	工場	ECOプロセス	FLレーザー加工機共通切断による電力削減	中部工場
037	工場	ECOプロセス	フレームライン稼働によるフォークリフト移動距離削減	中部工場
038	工場	ECOプロセス	事務所電灯開閉による電力削減	中部工場
039	工場	ECOプロセス	中組処理施設汚濁処理装置設置	中部工場
040	工場	ECOプロセス	廃プラスチック(工場デブリ)の精出先変更による、CO2排出削減・リサイクル処理費削減	中部工場
041	工場	ECOプロセス	廃プラスチック(工場デブリ)の有価品目切替による、廃棄物排出削減・リサイクル処理費削減	中部工場
042	工場	ECOプロセス	工場排水の汚染予防設備対策による資源保護及び環境汚染リスクの低減	東北工場
043	工場	ECOプロセス	工場排水の汚染予防設備対策による資源保護及び環境汚染リスクの低減	東北工場
044	工場	ECOプロセス	電気使用量削減による、CO2排出削減への取り組み	奈良工場
045	工場	ECOプロセス	夏季輪番生産時における全社牽けての省エネ活動の取り組み	栃木二宮工場
046	工場	ECOプロセス	水を使用しないエコトイレの導入	滝ヶ崎工場
047	工場	ECOプロセス	ジンキ水性塗料の凝集沈降による廃棄物削減	三重工場
048	工場	ECOプロセス	カチオン電着塗装ライン・電力消費量の削減	新潟工場
086	工場	ECOプロセス	LH鋼(LH-200×100)の軒桁用プレートへの端材活用案	滝ヶ崎工場

© 2007 Daiwa House Industry Co., Ltd. All rights reserved.

法令順守評価 活動事例

Daiwa House.

「知らなかったでは済まされない」法・政令・県及び市町村条例など企業リスクの低減活動として組織的に順守評価を実施。

環境に関連する42のベース法及びその他要求事項についての改正情報の入手及び全工場への配信を本部が実施。

各工場は本部からの改正情報を基にサイト管理表に落とし込みを実施。(以前は同じ法管理を10工場バラバラで行っていたものを一括管理とした)

更に各工場が所在する県や市町村条例をHP等から最新情報をチェックしてサイト管理表への落とし込みを実施。

膨大な法や政令、県市町村条例を作業工程の単位や該当施設等に分類整理して、その作業工程の主管部門にて年間計画表に基づいて毎月順守評価を行い、その結果を工場経営報告として本部へ毎月報告。

© 2007 Daiwa House Industry Co., Ltd. All rights reserved.

当社に関連するベース法

DaiwaHouse

Table with 3 columns: 品名 (Item Name), NO. (No.), 方法名 (Method Name). It lists various environmental and safety methods such as '環境基本法' (Basic Environmental Law), '大気汚染防止法' (Air Pollution Control Act), and 'エネルギー' (Energy).

Table with 3 columns: 品名 (Item Name), NO. (No.), 方法名 (Method Name). It lists 'その他要求事項' (Other Requirements) such as '環境' (Environment) and '安全' (Safety).

※法等改正、生産活動の変化等によりベース法及びその他要求事項は変化するものとする。

サイト管理表(届出関係)抜粋

DaiwaHouse

サイト管理表 届出関係

作成日: 2019年10月01日 修正日: 2022年12月19日

Table with columns: 主要工程 (Main Process), 法令名 (Law Name), 業 (Industry), 区分 (Category), タイトル (Title), 内容 (Content), 担当 (Responsible), 頻度 (Frequency), 実施内容 (Implementation), 記録 (Records), 関連標準 (Related Standards).

© 2007 Daiwa House Industry Co., Ltd. All rights reserved.

# 法規制順守評価結果報告書 事例

DaiwaHouse

法規制順守評価結果報告書 [73上期 中部工場]

サイト管理表 評価を実施

評価日: 2007.08.01  
 評価者: 中野 浩二  
 評価対象: 中部工場  
 評価範囲: 全工場

【届出関係】

法規制	届出種別	届出内容	届出状況	法規制		評価結果	評価内容	備考
				項目	状況			
環境 関係 関係 関係	環境 関係 関係 関係	1. 騒音・振動 2. 大気汚染 3. 水質汚濁 4. 廃棄物の処理 5. 労働安全衛生 6. 労働時間 7. 労働安全衛生 8. 労働安全衛生 9. 労働安全衛生 10. 労働安全衛生 11. 労働安全衛生 12. 労働安全衛生	計画	実施	○	1. 騒音・振動 2. 大気汚染 3. 水質汚濁 4. 廃棄物の処理 5. 労働安全衛生 6. 労働時間 7. 労働安全衛生 8. 労働安全衛生 9. 労働安全衛生 10. 労働安全衛生 11. 労働安全衛生 12. 労働安全衛生	1. 騒音・振動 2. 大気汚染 3. 水質汚濁 4. 廃棄物の処理 5. 労働安全衛生 6. 労働時間 7. 労働安全衛生 8. 労働安全衛生 9. 労働安全衛生 10. 労働安全衛生 11. 労働安全衛生 12. 労働安全衛生	1. 騒音・振動 2. 大気汚染 3. 水質汚濁 4. 廃棄物の処理 5. 労働安全衛生 6. 労働時間 7. 労働安全衛生 8. 労働安全衛生 9. 労働安全衛生 10. 労働安全衛生 11. 労働安全衛生 12. 労働安全衛生
			計画	実施	○	1. 騒音・振動 2. 大気汚染 3. 水質汚濁 4. 廃棄物の処理 5. 労働安全衛生 6. 労働時間 7. 労働安全衛生 8. 労働安全衛生 9. 労働安全衛生 10. 労働安全衛生 11. 労働安全衛生 12. 労働安全衛生	1. 騒音・振動 2. 大気汚染 3. 水質汚濁 4. 廃棄物の処理 5. 労働安全衛生 6. 労働時間 7. 労働安全衛生 8. 労働安全衛生 9. 労働安全衛生 10. 労働安全衛生 11. 労働安全衛生 12. 労働安全衛生	1. 騒音・振動 2. 大気汚染 3. 水質汚濁 4. 廃棄物の処理 5. 労働安全衛生 6. 労働時間 7. 労働安全衛生 8. 労働安全衛生 9. 労働安全衛生 10. 労働安全衛生 11. 労働安全衛生 12. 労働安全衛生
			計画	実施	○	1. 騒音・振動 2. 大気汚染 3. 水質汚濁 4. 廃棄物の処理 5. 労働安全衛生 6. 労働時間 7. 労働安全衛生 8. 労働安全衛生 9. 労働安全衛生 10. 労働安全衛生 11. 労働安全衛生 12. 労働安全衛生	1. 騒音・振動 2. 大気汚染 3. 水質汚濁 4. 廃棄物の処理 5. 労働安全衛生 6. 労働時間 7. 労働安全衛生 8. 労働安全衛生 9. 労働安全衛生 10. 労働安全衛生 11. 労働安全衛生 12. 労働安全衛生	1. 騒音・振動 2. 大気汚染 3. 水質汚濁 4. 廃棄物の処理 5. 労働安全衛生 6. 労働時間 7. 労働安全衛生 8. 労働安全衛生 9. 労働安全衛生 10. 労働安全衛生 11. 労働安全衛生 12. 労働安全衛生

© 2007 Daiwa House Industry Co., Ltd. All rights reserved.

# 順守評価年間計画表

DaiwaHouse

No	環境法令等サイト管理表 (大区分)	順守評価スケジュール											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	鉄骨関係	計画							○				
2	塗装関係	計画								○			
3	外壁関係	計画									○		
4	木質関係	計画											
5	コンプレッサー関係	計画											
6	GRC関係	計画											
7	集積・積み込み・出荷関係	計画	○										
8	危険物倉庫関係	計画		○									
9	副産物保管関係	計画			○								
10	施設関係	計画				○							
11	届出関係	計画											○
12	共通関係	計画											○

作業工程毎に順守しなければならない規制値などを主管部門責任者が順守評価を行うことで、企業としての社会的責任を認識されたこと、知らなかったでは、済まされない法規制に対する企業コンプライアンスの予防的活動ができました。

© 2007 Daiwa House Industry Co., Ltd. All rights reserved.





以上で発表を終わります。  
ご静聴有難う御座いました。